



西郷 隆盛
 夢物語
 号 壺



A441

出版御届明治十年十月十八日

定價三錢

第ニ大區三小區南綿屋町

三拾三番地

大阪府平民

編輯兼出版 伏見豊吉

西郷隆盛夢物語譚 全

西郷隆盛夢中に萬造主宰に

逢心根を上聞せし事

夢の世に夢なる身のものごと

悔る時こそ夢の覚めけり云々

例々今筈に西郷隆盛ふ此

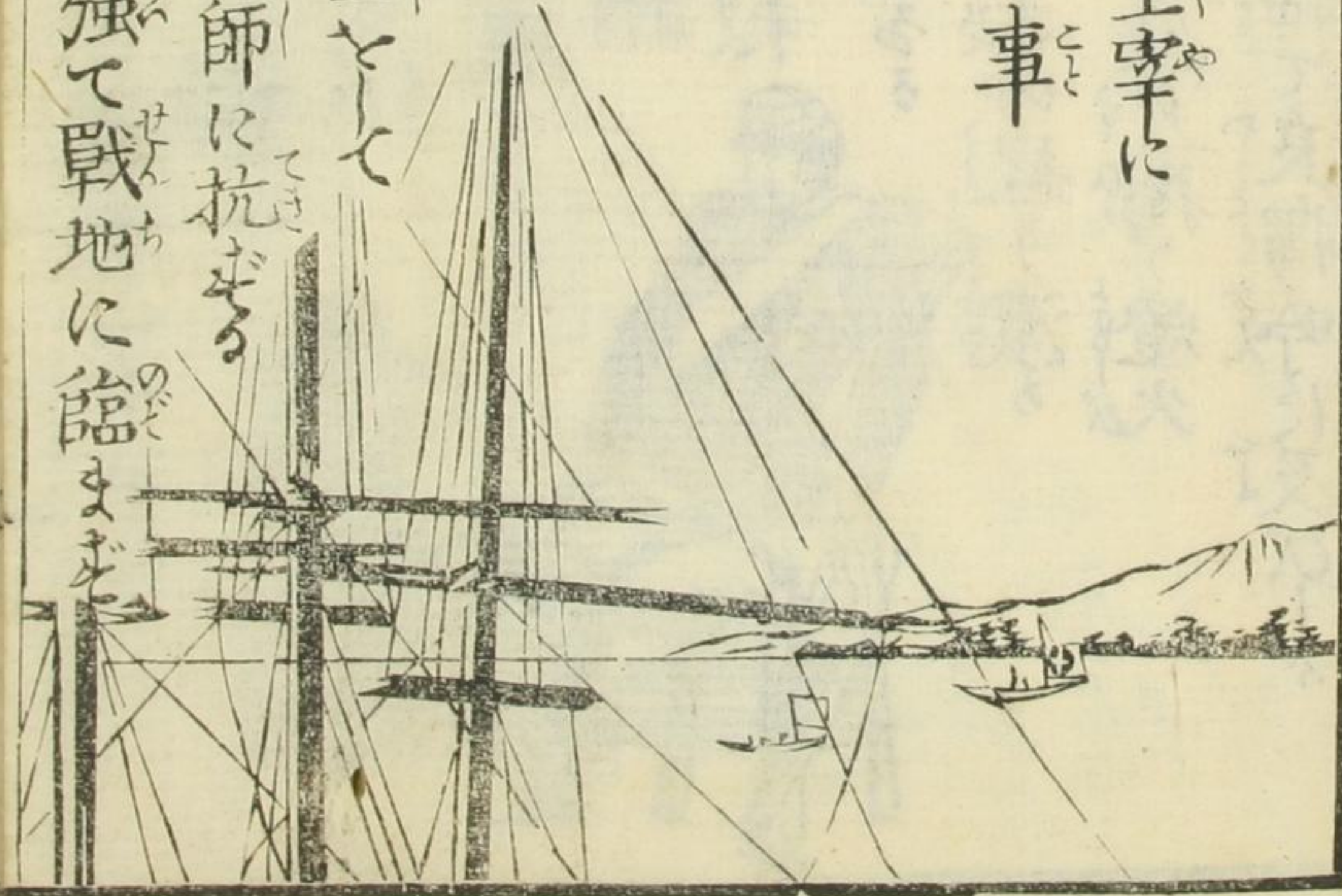
程の戦事止時無く身へ川尻

に本陣を張り一萬有餘の兵士とて

己り四肢を勤便が如くにて屢王師に抗する

も撓む色も少く其身へ強て戦地に臨ま

夢物語



48-7851

と金も計策を憚懼の中に廻り勝車と千里の

外に決まる張良氣位にて戦車の暇に

桐野其他の將技と終日棋盤と打

圍も或ハ遊獵を娛し居ける其膽

略の廣大にして味方の諸將にも計

り知るべき非むと云ふ頃ハ二月の未

つゝ深谷の氷解祓めて時得顔る

梅香や山路も野辺も安託草木の縁り濃り

に萌立思ひを忍びつゝ或る夜隆盛只獨り燈火

の下に座を占て和漢の兵書を繕て良獨吟に及びり



春の夜なれば更安く睡眠曉月と催まを彼唐人の云り

如く隆盛机小隠し思を黒甜郷小入

時身うづかる暗薰の香り糸のくに

四方に馨むる物もあど左も尊

げたる一個の童子現くと來り正士

くと呼覚せり隆盛聞敷坐と

改め是ハ不審敷其一言賤敷

此身に對こもて正士と云り宣ふ

貴童ハ何と云り参らまじやと問り童子

猶も辞と正し辱くも世界万天の命使に來りあり



早や行たぬへと開け立て先に立つ導すべ
あや隆盛不思議の晴やぐと金も

童子も言葉に随ひて跡邊の方に
附添て浮へる雲う風船に乗り

心地のまくりう遙う向ふと仰ぎ
見るに正しく大内裏とも思

くて南北三十六町東西九町に

して四方に二十二門あり隆盛別々修ふ

其処に到りて見れば南は美福門紫霞

清涼温明殿日花月花の兩門陳の坐軒廊左右の

新政大總督征討



掖南殿の階下に右近の橋左近の櫻若やうに中兵ふへ

鳥の旗を立左へ日の旗青龍朱雀の旗右へ月の旗

玄武白虎の旗再々暉々として風に靡非き

日に映む其外七十二の前殿三十

六の後宮鳳の薨虹の祭雲云にそ

びの是と言ふとあるき大内裏見

るにつけても隆成興我身の上へ替

まども疾日らうなる内裏のありき夜天

我を棄玉つて此神殿に来るとこそ幸ひ

龍顔を并奉り我が心根を奏聞せんと童子の後邊



に付そひ進まんとせしに不思議や童子を見失ひしが素
より知る隆盛なるもべ少しも臆する色もあく

宮殿樓閣を打過て玉坐間近く陛下の

下に跪つき左右の大臣在りまぬぬ

恐も多くも龍顔を拜し奉ら

んと打守りたる折とあ連々と

して王宮の捲上りしは是ハ如何

今上帝に御座さばと虫も最

貴げなる神装は臨御の粧ひうつ高

實や神代の神をふんと思ふ折も神顔殊に艶しく



御聲さやりに宣ふや珍しや隆盛汝を此世に下し

四十余年此星霜を經りしが昔に替らぬ堅固のあり

神も久満足せり夢々不審と思ふ

べらる斯く此身ハ世界万天の主

宰にして一月以來日本國に於て

海賊魁となり干戈を邦内小

らあらし多くの人命を擲ト腥

煙既に天庭を穢まにまらんと

まらによつて神靈権に日本國王の

皇殿に出現し汝が心意に聞亂ししう曲直明裁の



神諭を行ふと事之と最有難き神言に隆盛身にとりて
計りに平伏あり何處何處の神天に在り奉るる

知祿ども神言の程ハ隆盛身にとりて
の喜び此上有べりも勿体なや

世界万天の主宰として倣令無
冤の事にもせよ汚名を受へ某

もも忌たまらぬ御神言
隆盛身にとり生前の面目曼に過

と謹で言上あり猶神宣ありて曰く
汝明治の初め日本帝王と補翼して國事に粉骨



報國の義名と奉げ勲功第一等する身と以て今日暴
徒の巨魁とあり國亂を起し許多の人命を殞せし

汝の拳勳ハ如何なる心根なるぞや時機
に因てハ天戮免るべし是とる

主宰の不徳にわれりと晝夜の
憂慮止時たり先づ目のり汝が

心意を聞まほしく覚ゆと世
界万種の主宰にて魚土戦争の事

ごふも捨あきごき事なまば裁断せんとの神慮を
配り折る故思ふに任せぬ主宰の身乃上幸ひ今斯く



文武の百官左右の大臣參内ありぬ時おれべ今同汝が蜂
起せし事の原由を包まざる語れよと宣ひしに隆盛はつ
と頭を下げ是は有るべき御錠あり

先づ頃より某の意心で包まれば

皇帝陛下へ奏聞あさんと上

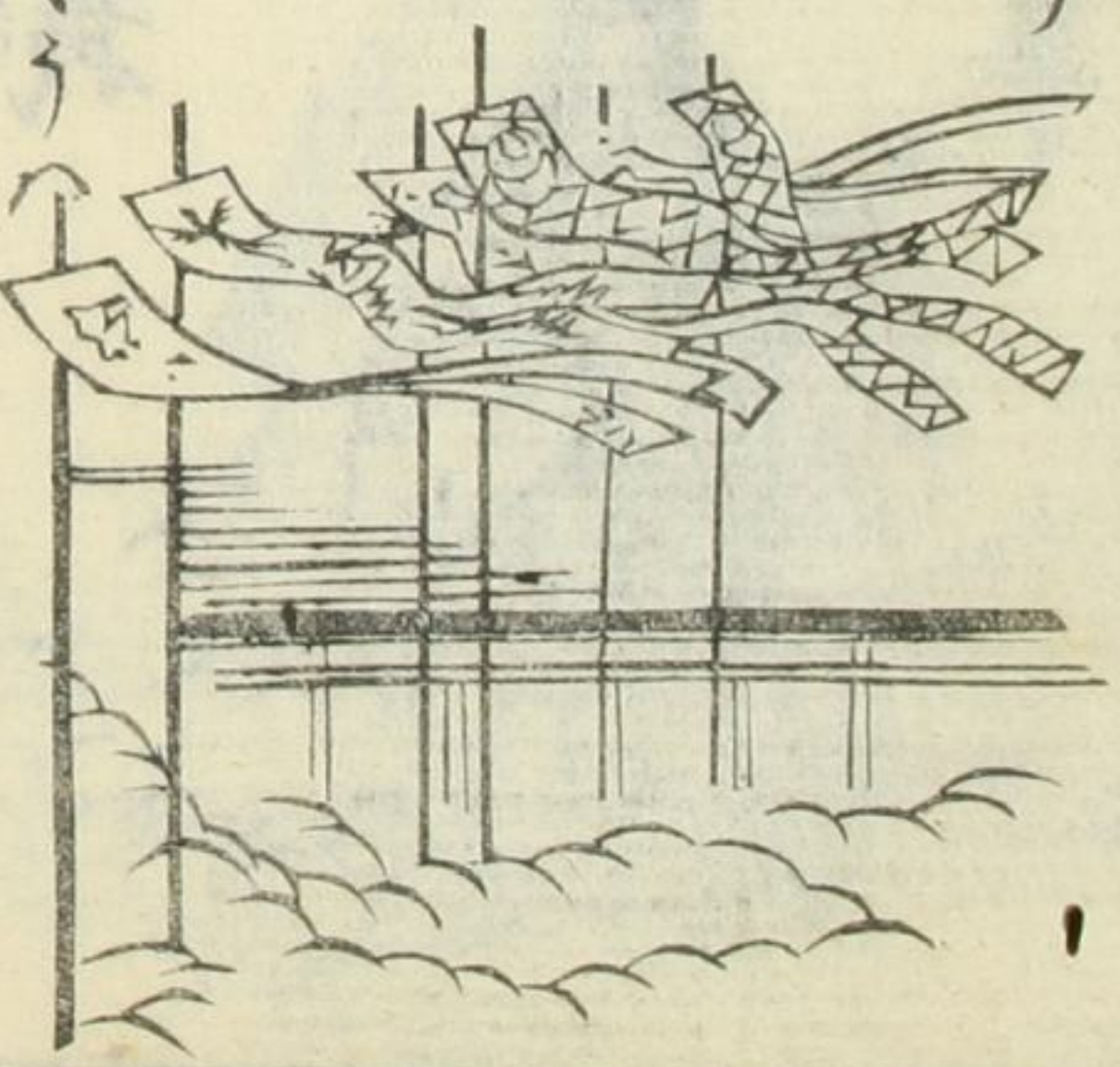
京の半途にて測らるる官士に

逆ぎしと思ひぬ戦塵を蒙り

遂に神慮を損し奉る罪遁るやうへ

あざむれと素より以て吾國王の錦旗に抗し人命を

害まべき戦争と好める心緒ハ努々無き事あるにその



原由の起るる吾皇帝の左右より機密の陰謀ありし

と人々その意を知ると只某とらうて無名の

暴徒の巨魁にて成功後九洲に面

政府をかき南北朝の昔をも再び

見ふ至るべきかど跡方もなき

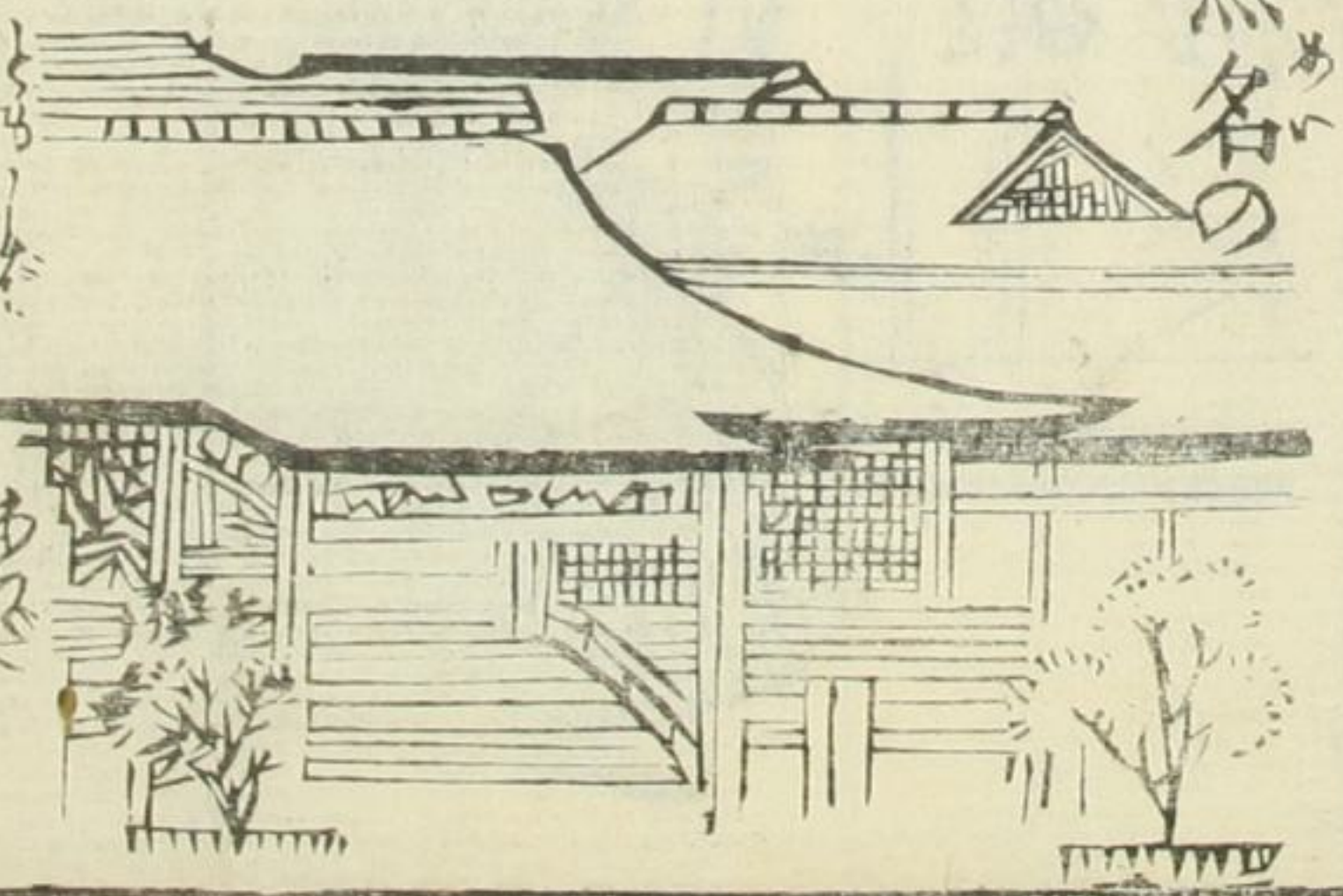
根無言を以て某と無究の非

道に落し入し上を迷えぬ虚言

の誦計など悪むもあろうに侍れども

今神顔を拜し奉ることを幸ひ事あかく共誓の間

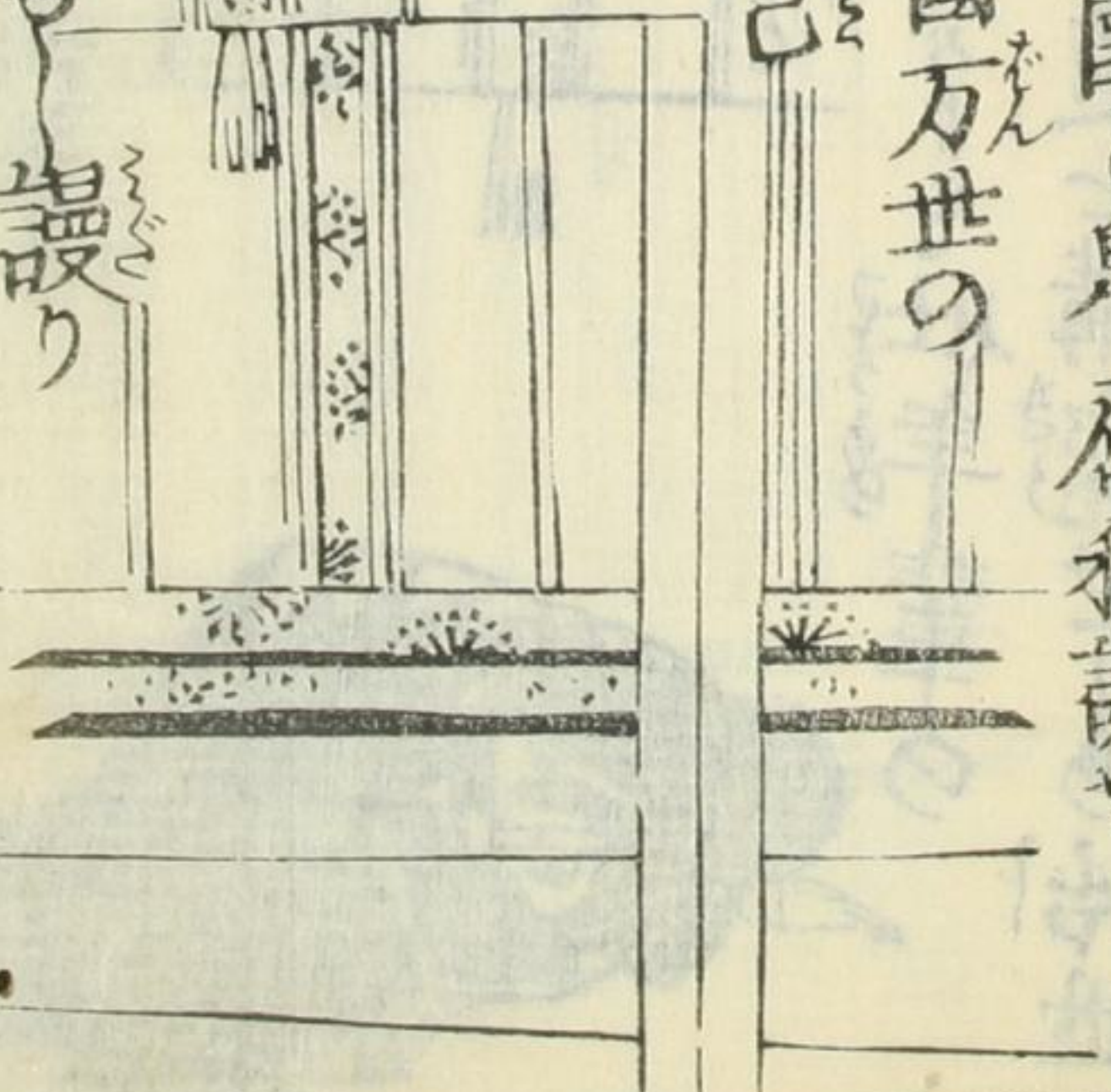
御耳を穢し奉らん抑日本皇帝に延喜元暦の先帝



にも劣り玉のぬ英名知識普天率土に著しく侍ととも
 左揆右揆の貴臣に二三の奸臣ありておのまろ
 私欲を専横し陽に公明を唱へ陰に
 苞苴を以て凡愚たる人も官途に
 選舉せしめ遂に其害農商を
 蔓延び地租改正の案におよび
 實米代價に不適當なる代價を
 賦し正金收取るに因て各在の農民蒞旗
 と動かし強訴止時なく商家に苛き租を加へ
 下民の自由を壓へ万民塗炭の苦難を顧みん己は花春淫



欲を横し官路の事務ハ々民心に侍り万民の朝廷と
 怨むもの少あり且外ハ朝鮮國と卑屈和議と
 結ひ苟且の儉安而已にして皇國万世の
 國辱を顧みん内ハ只洋法に而已
 泥酔と忝けあも吾日本國
 三種の神傳る宝劍の武
 用を廢し刺へ國に功ある華
 士族の永世祿を祿券金祿とを護り
 に賣賈の權を許せしめ士族ハ遂に奸商の手に
 身とおと進んでも生路なく退ひても依るべし主



私怨を王朝に積りしより非謀を企つるに至り多くの人
命を殞すは是則ち阱と國中に作るの制方なるん
是亦國事の成敗を過し明治六年

十月の會議の席にて建議

せし御採用にもあらざるゆ

臣其職にありて其言を入玉の

ぬ上りて某ありて何の益あるんと

職を辭し古郷に歸り不肖あるも壯年輩の

爲に私學校を設立け文武の道を講究せしめ治世

に亂を志まざる報國の心深きより折や山野に跋渉

壯年原を打集ひ練兵の學びも致せしに政府痛くも是

を疑慮有てり本年二月十日の夜某が住郎の床下に

何奴なるる忍び入り我を切害あるんと

まゐる者あり早く捕へて拷問

せしに豈たらんや貴臣の秘

命を受け帰省を名しして縣

地に來り某を暗殺せんと謀

しなりと逐一白狀に及びし上六何等

某に罪有にもせよ其罪を問ひ亂さむし人々を暗殺

する無憲の制方あるべきや天若し吾を助け玉りされば吾



一身而已ありま非命を遂る者多るべし左なる時ハ彼が横
行止時を斯くする未ハ恐む多くも 聖體の御安否ハ

申とも更なり吾皇國の顛覆をも

過措ぞ茲に萌せるなまば如何

沈黙傍觀する時ありんや吾

上京ありて事の始終を奏聞

み曲直明裁の聖断を仰ぎ

奉らんと思ひ六熊本城下まで出馬

致せし豈計らんや半途にて官士の爲に遮らま

空く月日を経るまに斯る場合に立至りありと古又の始



終と身の成行を包まざる言上りてせしに主空千に猶も言辭
と和け宣ふやう汝が只今申述るが如く一々尤に聞ゆまども

能思ふても見らまよ日本國三千万人の主眼なる

政府にて汝一個に悪むべき様や有まざり

汝も又身の行ひハ勿論心中少も犯せる

罪あるハ何を暗殺を受べき陰報ハ無

るべし今汝が口實とまる暗殺ハ跡方

なき夢中の暗察ふとや汝を暗殺

せんと謀りし古又の有にもせよ汝ハ去る年跡を暗々古郷ふり

へり山伏野に隠し隠者の隠謀分らねば素同郷のの



有友情、別ても深き者あれば、假令夢中の夢にもあれ、汝の身の祥い、やと暗察するも理あり、や理非曲直の峽へ迷へる、更も有もの也、譬言、視察と刺殺と、き暗察と暗殺と思ひ違ふ事も有べし、今汝が惑ひ、此二つを聞違ひ思ひ過るより、て夢解ある、更に怒り起し、夢裏夢體なる意氣地と張夢敵の戦争あきまをも、理非曲直の明裁、此主宰が、一々神断をべし、然る後、相互ひ残夢を覚し、一向に信義を以て、日本の帝王陛下と補翼して、富國強兵、下民として安堵の

新政原稿



思ひを計るべし、曲直の明裁とせんと、神位威高く、坐と占玉へ、隆盛思つて、神威に伏し、一句も得まじ、て主宰の明裁、其理を得まじ、神慮に背き奉らん、と御受申て、隆盛の頭を下けて、謹格深く、七看へけ、と主宰の御声高く、隆盛汝無根の流言を証と、非謀を企る罪表に、辞弁を以てするも、其行跡の上に於て、疑敷事数々あり、今其二の罪目と問ん、若も其甲開き、違々に及び、曖昧なる答弁と聞請も、其産と寸歩も、勤るさび、嚴き刑法に處



まへきかり先其身へ汝暗殺を以て口實として上京か一車
 の原由を政府に尋問する本意あれば何ぞ兵器を數多携へ兵隊
 と引率するに及べるや隨身相當の從僕を具して上京ゆる誰か汝
 の通路を遮る者有人暗殺する者無とも汝暗殺を受け程の罪を
 犯せる覚へ汝の腹中には有と以て多くの兵を引連れ其身の陸軍
 と蔽さん爲あらん又汝が持出したる銃器彈藥大炮の兵器等
 へ何者の所有物あるや汝陸軍大將の任ゆせよ私に兵器を貯
 備る條へ有まじき法へ先此返答の如何と責問せられとあり
 隆盛が是より後毎條の申開きの次の篇を見て知玉ふへくと云
 り夢へしとて更なるふてや

錦畫百事新聞
和漢書物類
當用物
繪本類
錦畫類
再取
津りの本
再取問屋
錦畫吉本橋版

再取 七折 九折 八折
 津りの本 七折 九折 八折
 再取問屋 錦畫吉本橋版
 錦畫類 錦畫百事新聞
 繪本類 繪本百事新聞
 和漢書物類 和漢書物類
 當用物 當用物類
 錦畫類 錦畫類
 錦畫百事新聞 錦畫百事新聞

010190507934

